

定例公安委員会の開催状況について

令和2年8月27日（木）に、第24回定例山形県公安委員会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

1 令和2年上半期における苦情取扱状況について

令和2年上半期における苦情取扱状況について報告があった。

委員のコメント

- 言葉遣いに関する苦情が多いようだが、ちょっとした言葉で相手が悪い印象を持つことがある。『警察ほど丁寧な言葉を使う組織はない』と言われるような文化が根付いてほしい。個別の内容を見ても適不適の判断は納得できるものであり、不適切なものについては再教育をしてほしい。
- 以前に『言葉遣い』について徹底的に教養したことがあり、その時は大きく苦情が減った。警察官は公僕であり、県民に奉仕する存在である。変にへりくだる必要はないが、常識的な範囲できちんとした言葉遣いをする必要がある。折に触れて上司が言葉遣いを教育してほしい。
- 昨年から見ると件数は増えているが、不適切事案の中にも深刻な失敗まではないと感じる。どのような苦情であっても、一つ一つ丁寧に対応している点は良い。若い人は、相手が乱暴な言葉で来ればこちらも同じような言葉遣いになるかもしれないので、きちんと教養してほしい。

2 山形市内のアパートにおける連続放火事件の検挙について

山形市内のアパートにおける連続放火事件の検挙について報告があった。

委員のコメント

- 放火の動機が不可解であるが、隣近所への被害も考えられるところであり、機敏な捜査を評価する。
- 現場保存をしっかりとやったことが短期間で解決につながったものと思う。
- 現場保存の徹底が一番のポイントであり、現場の警察官が確実に役割を果たしたことが解決につながった。

3 新庄駅前における連続放火事件の検挙について

新庄駅前における連続放火事件の検挙について報告があった。

委員のコメント

- 似顔絵の精度の高さに感心した。放火は周囲の方々が最も恐れる犯罪の一つであり、早期検挙を評価する。
- 市中心部の火災であり、市民にとってはかなりの不安であったと思う。似顔絵については、講習を毎年やっていた効果があったものと思う。

- 先の放火も含めて、検挙までに時間がかかると住民の不安感が増大する。時間を置かず短期間に検挙できたことは良かった。似顔絵についても、その効果の大きさを講習参加者に伝えてほしい。

4 令和2年上半期における運転免許の行政処分執行状況について

令和2年の上半期における運転免許の行政処分執行状況について報告があった。

委員のコメント

- 行政処分の案件中に飲酒運転によるものが多いという印象を持っている。公共交通機関や飲酒後の帰宅手段をどのようにするか、交通サービスにも関わることだと思う。高齢化社会であり病気による行政処分が増えるのは致し方ないところであるが、高齢者の移動手段の確保についても同様に行政側の配慮を期待したい。また、てんかんについては、若い人だけでなく高齢者の病気であると言われるようになってきたので、そういう認識も持ってほしい。
- 酒気帯びに関しては検挙が落ちないように、力を入れて取り締まってほしい。行政処分の上申日数が短い点は評価できる。
- 認知症での取消しが年々増えているが、認知機能検査の段階で問題のある人は自主返納の方が好ましいのではないかと、方針や対応策を更に検討してほしい。行政処分の上申日数が短いことは良いことであり、継続してほしい。

5 令和2年度庄内空港ハイジャック事件対応訓練の実施について

本年8月28日、令和2年度庄内空港ハイジャック事件対応訓練を実施する旨の報告があった。

委員のコメント

- オリンピックを控え、地方の飛行場を狙って騒ぎを起こす可能性もあるので、時宜を得た訓練であると思う。
- 空港派出所やネゴシエーターも含めて成果の上がる訓練を行ってほしい。
- 夜間と同様の状況で訓練するといっても、現実には日中と夜間は異なる点が少ないので、一度は実際に夜間訓練をやってみてほしい。

6 陸自神町駐屯地周辺地域における小型無人機等の飛行禁止について

陸上自衛隊神町駐屯地周辺地域における小型無人機等の飛行禁止について、警察の対応等の報告があった。

委員のコメント

- 厳密に対応しなければならないと思うので、ホームページ等で周知してほしい。
- 世界では、ドローンが武器として悪用された例もあるので、テロに使われることもあり得ると十分認識してほしい。
- 農薬散布にも無線のヘリコプターがかなり使われているので、農業従事者への周知徹底をお願いしたい。